

# 言心先生の 中国便り

## 天価

数日前、名古屋市内に仕事のため行って来た。深夜、友人に連れられて、北東部の守山の竜泉寺温泉に向かった。意外にも、遅い時間にもかかわらず温泉は混雑していて、入浴客で溢れていた。入浴料金は500円で、安いと感じた。今、中国のちよつと大きな温泉の入浴料金は、約二百元人民幣で、およそ四千元である。日本の料金の八倍ほど高いうえ、普通の人の給料の二日分である。

中国人は高すぎる料金を「天価」と言う。今年の国慶節の長い休暇中、一番の「天価」事件は中国山東省の青島市で発生した。顧客の肖さんは善徳海鮮焼烤家常菜のメニューを見て、38元の海老料理を注文した。ところが、実際の請求金額が800元人民幣(約一万六

千元)で、肖さんをびっくりさせた。店の支配人は一匹の海老が38元で、一つの海老料理は800元で、間違いないと説明した。

在日中国人が東京のアメ横の水産店で同じ大きさの海老を買うとすれば、値段は約一キロ約800円である。もし、東京の料理店で青島と同様の料理を注文してもせいぜい千円で、約十六分の一である。勿論、青島のケースはば



つくりの部分もあるが、中国の物価が高くなったのも事実である。

ある筆者の友人のご両親は息子に呼び寄せられて、日本にやってきた。彼らが一番驚いたことは、物価が高いと言われている日本の消費物価の安さである。

何故、中国の物価が高騰しているか、いくつかの原因があると思う。まず、国の税金が高くて、営業税は日本の消費税より高い14%である。また、中国の海鮮等の資源は乏しくなる一方になっている。三番目に、今中国の観光地では富裕層をターゲットにしたぼったくりが横行しているのである。

十月の中国連休中、中国の観光客は海外旅行と国内旅行に分かれていた。海外への旅行者は満足度がまずまずであるのに対して、国内のサービス業に対しては悪評の報道が多い。もし、この状況が続いたならば、海外への観光・買い物目的の中国人はまだ増えると思う。

半年に1度の冬の大セール!! 11/13(金)~12/31(木)迄!!